

<市長部局(教育委員会以外の行政委員会等を含む)>

総務企画部

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
1	総行 務政 課室	印刷用紙・コピー用紙の年間発注枚数を1%削減する。	D	適正な用紙の使用について関係各課に通知する。 印刷等について相談があった場合、適宜裏紙使用や2アップ印刷を推奨する。	B B	令和5年9月6日付け事務連絡で「複写機の使用枚数」というタイトルで適正な用紙の使用について、また2アップの推奨について通知した。 実績については、令和4年度複写機使用枚数が5,870,323枚であるところ、令和5年度は6,116,881枚となり使用枚数が令和4年度から4%増加となっています。
	総人 務事 課室	時間外勤務時間数を昨年度実績から1%削減する (人事室昨年度実績3,533時間)	C	計画的に業務を進め、毎月の時間外枠配分を達成する (R4達成月、4月、6月) 時間外勤務時間数について、月45時間超過月を削減する (R4超過月、4月、10月、11月、12月、3月)	C C	人材育成基本方針及び定員適正化計画の改正など、令和4年度にはなかった業務により、令和5年度は目標を達成することが難しい状況となりましたが、採用試験の受験者管理システムの導入など、今後の時間外勤務削減につながる業務改善に努めました。
	総情 報 務推 進 課室	汎用電子申請システムの利用を促進し、照会業務に使用する用紙を削減する。	A	各所属に汎用電子申請システムの積極的な利用を呼びかける。 各所属に汎用電子申請システムのメリットの一つとしてペーパーレス化があることを周知し、効果的な用紙削減を促す。	B B	事業者主催のオンライン研修への参加を呼びかけ、各所属による汎用電子システムの活用を促しました。
2	企 画 財 政 課	照明の適切使用及び用紙使用料の削減	A	必要な場合を除き、照明の午前8時30分以降の点灯及び必要箇所のみ点灯、昼休み・退庁時の消灯を徹底する。	A	
				ノ一残業デーの実施を徹底する	B	
				可能な範囲で両面印刷、裏面利用を行い、用紙類の適切な分別廃棄を徹底する	A	
3	秘 書 広 報 課	照明の適正使用	A	必要な場合を除き、始業前、昼休憩及び退庁後は消灯する。	A	
				市長応接室及び副市長応接室は使用時のみ点灯する。	A	
4	契 約 管 財 課	電気使用料とガソリンの給油量を削減	A	空調設備は、夏季28℃、冬季19℃を基準とし、適正に使用する。	B	今年度12月1日から、市役所本庁舎を含む26の施設で再生可能エネルギーを導入した。空調設備については、定期的に庁舎内の温度を管理し、適正な温度になるように、気温や職員の時間外勤務に柔軟に対応した。市庁舎のLED照明改修工事については、今年度は実施設計を行い、令和6年度夏に実施する予定である。今年度の公用車更新では、ハイブリッド車と低燃費車を導入して、2月から運用している。
				市庁舎のLED照明改修工事の実施設計を行っていく。	A	
				公用車を更新する場合は、低燃費かつ低排出ガス認定者を積極的に導入するものとする。	A	

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
5	課 税 課	照明の適切使用	B	業務に支障のない範囲で昼休み一斉消灯を行う。	A	時間外勤務時の廊下の消灯が徹底されていないことがあった。
				時間外勤務時は必要箇所のみ点灯し、特に廊下の消灯に心掛ける。	B	
				勤務終了後の早期退庁を奨励する。	B	
		グリーン購入及び環境配慮契約の推進	B	チューブファイル、フラットファイルを中心に、事務用品の再利用に努める。	A	
用紙使用量の削減	A	可能な範囲で両面印刷を行う。	A			
		可能な範囲で裏紙を利用する。その際、個人情報には注意する。	B			
		パソコンからのプリント時にはプレビュー画面の確認を心掛け、ミスプリントを防止する。	A			
6	収 税 課	照明の適正使用	A	昼休みは必要箇所のみ点灯する	A	
				窓口相談ブースの消灯管理	A	
				時間外勤務時は必要箇所のみ点灯する	A	

市民生活部

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
7	市 民 課	照明の適正利用	A	時間外勤務時には、必要な箇所だけ点灯する。	A	
				当日中に使用しない機器の電源は速やかに落とす。	A	
8	保 険 年 金 課	用紙使用量の削減	A	印刷プレビューで事前に確認してからプリントアウトする。 可能な限り、両面やNアップを活用する。	A	
				個人情報が記載されている用紙を除き、片面が白紙のミスプリント等は、課内用印刷やメモ用紙として活用する。	A	
				オンラインで確認できる資料はプリントアウトしないよう心掛ける。	A	
9	ク リ ー ン 推 進 課	時間外勤務を昨年度より5%削減する(令和4年度合計時間 774時間)	B	ノー残業デーの実施を徹底する	B	令和5年度時間外勤務時間数:1024時間 前年度比32.3%増加
				勤務終了後の早期退庁を奨励する	A	

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
10	環境課	時間外勤務の適正化	A	ノ残業デーの実施を徹底する。	A	その他、用紙の裏面印刷に取り組んだ。
				時間外勤務を要するときは、事前命令を順守する。	A	
	勤務時間終了後、時間外勤務命令を受けてないときは、ただちに退庁する。	A				
		電気機器の適正使用	A	始業時間前、昼休み、終業時間後は必要な箇所のみ点灯する。	A	12時から13時までの必要箇所以外の消灯を徹底した。
11	農業振興課	公用車の適切な運行	A	公用車を運転する際、急発進並びに急加速はせず、「eスタート」(最初の5秒間で時速20キロ程度に加速)の実践を心がける。	A	
12	商工振興課	照明の適正使用	B	時間外勤務時は、必要箇所のみ点灯する。	A	天気の良い日の消灯はあまり実施できなかったが、その他の取組みについては、概ね実施できた
				ノ残業デーの実施を徹底する。	A	
				天気の良い日は自然光を活用し、可能な範囲で消灯する。	C	
13	市民活動推進課	用紙使用量の削減	A	可能な範囲で割付印刷や両面印刷、裏面利用を行う	A	
14	安全対策課	照明の適正使用	B	12時から13時まで原則として消灯する	A	12時から13時までの消灯を徹底し、通常の時間帯も必要のないときは窓際の照明を消灯した。また、時間外勤務時も概ね実施した。
				時間外勤務時は必要箇所のみ点灯する	B	

健康福祉部

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
15	社会福祉課	電力使用量の削減 (令和4年度使用量 509,140kWh)	A	6階大会議室のLED照明を活用し、蛍光灯の電力使用量を削減する。	B	令和5年度の電力使用量は460,059kwhであり、昨年度より削減することができた。 その他の目標についても概ね実施することができた。
				空調を夏期は28℃、冬期は19℃を目安に温度設定する。	B	
				面談室や廊下等の照明は、必要な時に必要な箇所のみ点灯する。	B	
16	障がい福祉課	照明の適切仕様	B	人がいない場所の消灯を徹底する。	A	
				勤務終了後の早期退庁を奨励する。	A	
				外出、会議等で長時間離席する場合は、パソコンの電源を切る。	C	
17	子ども支援課	時間外勤務を昨年度より5%削減する(令和4年度合計:1764時間)	A	ノ一残業デーの実施に取り組む 時間外勤務の管理を徹底する	A A	令和5年度においては、ノ一残業デーの実施に取り組むとともに、時間外勤務の管理を徹底した。 その結果、令和4年度に比べ、時間外勤務時間数が397時間削減した。
18	中央児童センター	照明や空調の適正利用に努める	A	電気点灯の適正利用(不必要な電灯をこまめに消灯する)	A	設定温度については、節電を職員に周知させるとともに事務所職員が定期的に確認するようにした。 施設内のすべての照明器具はLEDになっている。
				照明器具の点検を適宜実施し、照明効率の維持に努める	A	
				冷暖房の設定温度を適正に管理する。	A	
19	南児童センター	照明や空調設備を適正に使用する	A	午前、午後ともに1～2回、温度計により温度管理を行う。	B	
				カーテンやカーペットを活用し、空調負荷を軽減する工夫を行う。	A	
				不必要な電灯をこまめに消灯するなど、適正に使用する。	A	
20	くぬぎ山児童センター	冷暖房を適正に使用する	A	遮光ネットと緑のカーテンを設置し、空調負担の低減に努める。	A	
				温度計を使用し、冷暖房の適切な温度調整を行う。	B	
				フィルターの清掃など定期的な点検を行う。	A	
21	北中沢児童センター	冷暖房を適正に使用する	B	可能な限り、自然光を利用し窓側や廊下の照明は間引きをする。	B	閉館時も来館者がいない時は照明を減らしていた。
				勤務終了後の早期退館を奨励する	B	
				給湯室は使用する時のみ点灯し、人のいない場所の消灯を徹底する。	B	

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
22	粟野児童センター	冷暖房を適正に使用する	A	冷暖房の設定温度を夏季は28℃、冬季は19℃を目安に設定する	B	夏季の猛暑日については幼児、児童の体調を考えて、冷房温度を適切に設定して対応した。 また、緑のカーテン(ゴーヤ)を設置し、空調負荷の低減に努めた。
				ロールカーテンや遮光シートなどを活用し、空調負荷の低減に努める	A	
				クールビズ、ウォームビズを励行する	A	
23	こども発達センター	ガソリン使用料1%削減(月0.1L)	B	人のいない場所の消灯を徹底する。	B	
				可能な限り自然光を利用し、窓側の照明は間引きを行うなどして、必要最小限にする。	B	
				照明器具の清掃を行い、照明効率の維持に努める。	B	
24	幼児保育課	用紙使用料の削減	A	不要になった用紙は、可能な限り再利用する。	A	
				印刷する前に印刷プレビューで確認し、ミスプリントを防止する。	A	
25	道野辺保育園	冷暖房を適正に使用する	B	冷暖房設定温度を夏季は28℃、冬季は19℃を目安に設定する	B	冷房設定は屋内での熱中症対策上28℃より低めで実施する必要があるクラが部分的にあり、室内環境を適宜確認することとした。
				緑のカーテンを設置し、空調負荷の低減に努める	B	
26	南初富保育園	照明の適切使用	B	午睡中は玄関、廊下など消灯を徹底する。	A	
				戸外遊び中は室内は消灯を徹底する。	B	
				不必要な照明は消灯を心掛ける。	B	
27	粟野保育園	照明の適正利用	A	午睡時の玄関・廊下等の消灯を徹底する。	A	
				人のいない場所の消灯を徹底する。	A	
28	鎌ヶ谷保育園	照明や空調の適切な利用、省エネを意識した行動の徹底	B	トイレや部屋の照明は使用する時だけ点灯し、使用後の消灯を徹底する	B	会議等で職員に周知したことで、ひとりひとりが意識して取り組むことができた。 毎週水曜日をフィルター清掃の日として朝の打ち合わせで発信し、取り組んだ。
				フィルターや照明器具の清掃を定期的に行い、効率維持をする	B	
29	高齢者支援課	照明の適正使用	A	時間外勤務時は必要箇所のみ点灯する	A	
				照明スイッチに点灯範囲を明示し、必要な箇所のみ点灯する	A	

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
30	健康増進課	電気等の適正使用	A	換気スイッチを適正に利用する。	A	
				勤務終了後の早期退庁を奨励する。	A	
				OA機器ディスプレイの明るさを省電力モードにする。	A	

都市建設部

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
31	都市計画課	照明の適正使用	A	昼休みは一斉消灯を行う(お客様来庁時以外)。	A	
				時間外勤務時間の照明使用は、必要箇所のみとする。	A	
				ノー残業デーの実施を徹底する。	A	
32	道路河川整備課	空調負荷の低減	A	ブラインドを活用し、空調負荷を低減する。	A	
33	道路河川管理課	電気使用量の低減	A	昼休みは一斉消灯を行う(業務に支障のない範囲に限る)	A	
		空調使用を最低限に留め、ブラインドや窓の開閉で室温調節を行う。		A		
		二酸化炭素排出低減		近距離の現場確認等では庁用車の使用を控え、自転車や徒歩で移動をする。	A	
34	建築住宅課	1. 照明の適正使用等の省エネ	A	1. 業務の支障がない範囲で昼休みに一斉消灯を行う。	A	2. 入居者が節電・節水に取り組んだことにより目標である2.0%を大きく上回る8.59%削減することができた。
		2. 市営住宅共用部分(電灯・コンセント関係)で電気使用量を平成28年度に比べて2.0%削減する。 (平成28年度使用量19,730kw)		1. 時間外勤務時は、必要箇所のみ点灯する。	A	
				2. 市営住宅の掲示板に階段灯の適切使用及び各戸の節水等呼びかける啓発文書を掲示する。	A	
35	下水道課	照明の適正使用	A	昼休みは一斉消灯を行う(業務に支障のない範囲に限る)。	A	
				時間外勤務時は必要箇所のみ点灯する。	A	
36	公園緑地課	市制記念公園他都市公園における電気使用量を1%以上削減(R4年度使用量32,199kwh)	A	照明器具の清掃を定期的に行う	D	市制記念公園管理事務所入口の公園灯以外は高いため清掃はできなかった。屋内灯を含めた公園灯について、LED灯30台を交換した。また、LED公園灯を1台新設した。
				都市公園の公園灯を3公園(3基)以上LED照明に更新する。	A	

行政委員会(教育委員会を除く)

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
37	会計課	照明の適正使用	A	昼休み時は必要箇所のみ点灯する	A	
				時間外勤務時及び休日出勤時の照明は必要最小限にする	A	
38	選挙管理委員会事務局	電力の適正使用	A	業務の支障がない範囲で昼休みに一斉消灯を行う。	A	業務に支障のない範囲での、電力適正使用に取り組めた。
				時間外勤務時及び休日出勤時の照明を必要最小限の使用とする。	A	
				最終退庁者が、退庁時に所属部署内のOA機器の電源が落とされているか遺漏なく確認する。	A	
39	監査委員事務局	照明の適正使用	A	昼休み一斉消灯を行う(業務に支障のない場合に限る)	A	
				必要な箇所のみ点灯する	A	
				勤務終了後の早期退庁を奨励する	A	
	用紙使用量の削減	A	割付印刷、両面印刷を可能な範囲で行う	A		
			コピー機使用前後のリセットを徹底する	A		
			資料等は必要最小部数を印刷する	A		
40	農業委員会事務局	庁用車のガソリン使用量を昨年度より3%削減する。 (令和4年度ガソリン使用量380.3リットル)	A	効率的なルートで回るよう心掛ける。	A	
				用件が複数ある場合は、可能な限りまとめて外出するようにする。	A	
41	議会事務局	照明の適正使用	A	時間外勤務時の照明は、必要最低限にする。	A	左記の具体的な取組み内容について、毎日実施することができた。
				使用していない部屋、議場、委員会室等は消灯する。	A	
				業務に支障のない範囲で昼休みに一斉消灯を行う。	A	

消防本部

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
42	消防総務課	用紙使用量の削減	C	コピー機使用前後のリセットを徹底し、ミスコピーを防止する。	C	
				資料等の作成は、必要最小部数とする。	C	
43	予防課	照明の適正利用	A	昼休みに事務室の半消灯を行う。	A	
				照明器具の清掃を定期的に行い、照明効率の維持に努める。	B	
				自動消灯機能のない照明が設置されている場所(更衣室等)について、使用後の消灯を徹底する。	A	
44	警防課	用紙使用量の削減	B	可能な範囲で割付印刷や両面印刷、裏面利用を行う	B	毎月昨年度の用紙使用量の実績を確認し、使用量を比較することで、課員全員の意識が向上し、年間を通して、目標達成に向けた手段を実施し、温室効果ガス排出量削減に取り組むことが出来た。
				コピー機使用前後のリセットを徹底し、ミスコピーを防止する	B	
				パソコンからのプリントアウトは、プレビュー画面での確認を心がけ、ミスプリントを防止する	B	
45	中央消防署	空調設備の適正使用	A	夏場の日中はブラインドを使用し、室内への日差しを抑えることで温度上昇を下げ、空調機器の負担を軽減する。	A	
				使用時間を決めて使用する。	A	
				使いすぎに気を付け、可能な限り窓を開けた自然換気で温度調節をする。	A	
46	くぬぎ山消防署	電気使用量削減	B	PCの待機電力を削減するため、使用していないPCの電源は切る。	B	昼休みだけではなく業務中も間隔を空けて電気を点けることで電気使用量を削減した。
				ブラインドを活用し、空調負荷を低減する。	A	
				昼休みに事務室の一斉消灯を行う。	A	
47	鎌ヶ谷消防署	電気製品の適正利用	A	冷暖房の設定温度を夏季は28℃、冬季は20℃を目安に温度設定する	B	夏季の猛暑時、設定温度(28℃)を厳守できなかった。また、便座のフタを締め邸にことが多数あり、電気使用量を削減できなかった。
				使用していない箇所の照明は、消灯を徹底する	A	
				洋式トイレの便座の温度を低めに設定し、便座のフタを開けて放熱を防ぐ	B	
	資源の削減	A	ごみになるものを出さないようにする	B	ごみを大幅に削減することはできなかったが、資源を有効活用することはできた。	
			使用可能なものは繰り返し使う	B		
			ごみと資源をきちんと分別する	B		

<教育委員会>

生涯学習部

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
48	教育総務課	電気使用量削減	A	小中学校4校(鎌小・東小・南小・鎌中)の校舎及び体育館等の照明器具のLED化を図る。	A	小中学校4校(鎌小・東小・南小・鎌中)の校舎及び体育館のLED照明改修工事を実施した。
49	学校教育課	用紙使用量の削減	A	用紙類を廃棄する際は、個人情報等を含まないものを除き、再利用に努める	A	
				コピー機利用前後のリセットを徹底し、ミスコピーの削減に努める	A	
				可能な範囲で両面印刷、割付印刷に努める	B	
50	学校給食センター	電力の適正使用	A	人のいない場所の消灯を徹底する	A	
				勤務終了後の早期退庁を奨励する	A	
				昼休みは可能な範囲で消灯する	A	
51	生涯学習推進課	電気使用量3%削減 (昨年度使用量126,175kWh)	C	冷暖房の設定温度を夏季は28℃、冬季は19℃を目安に設定し、必要箇所のみ稼働する。	C	令和5年4月から令和6年2月までの電気使用量は118,401kWhとなり、3月分を考慮すると微増となる見込みである。
				人のいない場所の消灯を徹底し、必要箇所のみ点灯する。 天気の良い日は自然光を活用し、可能な範囲で消灯する。	C	
				勤務終了後の早期退庁を奨励する。毎週水曜日の一斉定時退庁の実施を徹底する。	B	
52	図書館	①電気使用量の削減 ②水使用量の削減 ③空調設備の適正使用	B	①-1トイレ照明の点灯時間タイマーを使用状況に合わせて設定 ①-2屋外照明点灯時間の適切な設定	A	
				②-1日常的な節水の励行 ②-2水道水圧の調査による節水の励行 ②-3水漏れ点検の徹底	B	
				③-1クールビズ、ウォームビズの徹底 ③-2冷暖房温度の適切な設定(夏季28℃、冬季19℃)	B	
53	東部学習センター	冷暖房及び照明を適正に使用する	A	冷暖房の設定温度を適切にし、利用のない部屋等の空調は、OFFにする。	A	
				天気の良い日は自然光を活用し、可能な範囲で消灯するとともに、利用のない部屋の照明は、消灯する。	A	
				メインとなる照明スイッチに必要な点灯箇所を明示し、不必要な点灯をしない。	A	

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
54	北部公民館	照明の適正利用と省エネ行動の推進	A	利用者のいない部屋と連絡通路は、消灯を徹底する。	A	利用者のいない部屋・通路は、「消灯する」と職員や利用者の意識の徹底を図り取り組むことが出来た。 緑のカーテンとしてゴーヤを植え育て、空調負荷の低減が図れた。 館内の照明器具の更新は実施しなかったが、屋外の照明灯1基を更新した際にLED照明に切替を行った。
				緑のカーテンを設置して、空調負荷の低減に努める。	A	
				館内の照明器具を更新する時は、LED照明にする。	A	
55	南部公民館	電気使用料削減	A	節電を周知する啓発ポスター掲示	A	
				利用者サービスが低下しない範囲で消灯	A	
56	東初富公民館	照明の適切使用	B	人のいない場所の消灯を徹底する	A	
				可能な限り自然光を利用し、必要最小限の照明とする	A	
57	文化・スポーツ課	電気使用量の削減	B	時間外勤務時及び休日出勤時の照明は必要最小限にする。	B	
				きらりホールにおいて時間外の照明は、最低限にする。	B	
				体育施設の照明の切れたところから、都度LEDに交換しCO2の削減を図る。	B	
58	郷土資料館	空調設備(冷暖房)の適正使用	A	冷暖房の設定温度を、夏季は28度、冬は19度を目安に設定する	A	
				気候や部屋の使用状況を見て不要なエアコンの使用はしない。	A	
				エアコンの使用時間を短くする(一日中付けたままにしない)。	B	